甲斐市立敷島北小学校「おやじの会(地域との連携)」

《敷島北小学校での取り組み》

敷島北小学校では、おもに地域の方々が組織する「おやじの会」を中心に、多様な人材が学校との協働的な活動を行っている。主な取り組みの1つとして、5年生の総合的な学習を中心に、おやじの会の方々を指導者に迎え、米づくり作業体験を行っている。児童は、主食である米の生産について学び、また農業と食料生産について考えることを行っている。また2つ目として、学校施設の環境整備作業を行っている。おやじの会のみでなく、母親の会も加わり、地域をあげて学校を支援している。

《敷島北小学校での事例》

敷島北小学校学校支援活動

場 所:敷島北小学校

参加者:敷島北小学校の児童・職員、おやじの会

活動内容:

「おやじの会」の方々との協働活動として、4月当初より一年間を通して米づくりの作業体験を行っている。おやじの会に所属する多くの地域の方々の協力が大前提にあり、各活動において、おやじの会の方々が技術や心構えといった多くのことを子どもたちに教えている。その教えを子どもたちは真剣に受け止め、おやじの会の方々と学習する一年間を通し、子どもたちが互いに大きく成長する姿を見ることができる。事前準備から打ち合わせなど、おやじの会と学校とが綿密にコミュニケーションを取りながら計画していることから、子どもたちの学習意欲は高まり、活動にも意欲的に取り組んでいる。また米づくりの専門家より指導していただくとともに、褒めてもらいながら体験活動を行うことから、体験する喜びを持ちながら地域の方々との活動となっている。

その他の活動:

敷島北小学校では、北小奉仕活動として防犯パトロール隊、学校の環境整備、親子早朝作業についても「おやじの会」を中心に地域の方々が協力して活動をしている。学習支援活動のみでなく、地域の方々との協働的な活動が行われていることが印象的である。また4月より5年生が育て、収穫したお米は、卒業式にておやじの会の方々が赤飯にし、卒業生全員にふるまっている。





